

(毎月 10 日・25 日発行)

復興ニュース

87 号
2013 年
4 月 10 日
メール

発行：NPO 法人夢ネット大船渡
大船渡市盛町字内の目 14-15
HP「夢ネット大船渡」と検索を
npoyumenet@bz01.plala.or.jp

住民の足 待望の三鉄が動き出す



郷土の歌手：大沢桃子さん

東日本大震災で大被害を受けた三陸鉄道南リアス線が、国内外の支援を受け 4 月 3 日に、盛駅から吉浜駅（21.6 ㌾）間の運行が始まりました。

4 月 3 日は朝から雨降りとなり「雨降って地固まる」との格言のごとく、再スタートを自然は厳しい目で祝ってくれたような気がしました。



歓迎の綾里駅

沿線の吉浜、三陸、甫嶺、恋し浜、綾里、陸前赤崎の各駅でのお祝いのお出迎え等で、三陸鉄道南リアス線開通の 29 年前のようなお祝いムードとなりました。

JR 盛駅待合室では、イオンによる骨なしサンマやサバの試食提供、大船渡市観光物産協会や三陸まるごと体験館の販売、夢ネット大船渡による「わかめシャブシャブ」を振る舞うなど一日中

わかめシャブシャブ（JR 盛駅）



お祝いムードいっぱいでした。

また、震災からの復興ということもあり、多くのマスコミ取材があり、テレビカメラを抱えた方々でいっぱいでした。

三鉄盛駅舎の運営 夢ネット大船渡

平成 23 年 10 月から、三鉄盛駅舎の利活用を通して、大船渡市の賑わいづくりを行って来ました NPO 法人夢

ネット大船渡が、平成 25 年度も引続き岩手県から委託を受けて、街の賑わいづくりに加えて、三陸鉄道の乗車券の販売業務も行っています。今後ともご指導ご支援をお願いします。

社会貢献活動入門講座のお誘い

人生 80 年時代、社会の第一線を卒業した方々の生きがいを応援する「社会貢献活動入門講座」（3 回コース）を行います。「情けは人のためならず」という言葉があります。

ボランティアは他人の支援ですが、自分の生きがいにもなります。これからの長い人生、自分の生きがいを見つけましょう。皆さまの生きがいを応援します。皆さまの受講をご案内いたします。

第 1 回社会貢献活動入門講座 定員 20 名 受講無料

日時：平成 25 年 5 月 15 日（水）午後 1 時 30 分～

場所：カメラアホール 研修室

講師：富手正義氏（岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター長）

主催・申込先：NPO 法人夢ネット大船渡 Tel (0192) 47-3271

第 2 回は 6 月開催予定、

第 3 回は 7 月開催予定です。

受講申込受付中

「酒田あねさんの会」から招待

3月25日・26日 夢ネット大船渡から15人

大阪の一般社団法人元気人間研究所の理事長森重子さんは、山形県庄内空港開港の際、大阪と山形との交流促進から、酒田市の観光大使に委嘱されたのを縁に、酒田との交流事業を行って来ました。森さんは被災者支援を行うため、一昨年 NPO 法人山形県くらしの共生福祉互助会事務局長の佐藤繁喜さんと一緒に、23年8月26日に大船渡市へ来ました。

佐藤繁喜さんは、大船渡市の碁石給食濱守社長と同業の弁当屋で、以前から知り合いでしたことから、大船渡市の NPO 法人である夢ネット大船渡を訪ねて来ました。

これが縁で一昨年は大船渡市の永沢仮設での結婚パーティーの開催を始め、大船渡市や陸前高田市内での「元気講演」や美容・縫製等を開催し被災者を元気づけて頂きました。また、昨年は末崎地区公民館と高田大隅つどいの丘商店街でのファッションショーや七五三の写真撮影、お好み焼き等を行って交流して頂きました。



相馬楼の舞娘と記念写真

こうした元気人間研究所と夢ネット大船渡との交流を知った、酒田市の商工会議所婦人部 OB 等で構成しています「酒田あねさんの会」(高橋あき子会長)が、被災者支援活動を行っている夢ネット大船渡の会員を酒田へ招待し、慰労をしたいとの申し出を、大阪の元気人間製造研究所の森理事長を通して、夢ネット大船渡へ連絡ありました。

大変恐縮でしたが申し入れを受け入れ、

3月25日と26日の1泊2日の日程で酒田市へ、貸切バスに乗って15人でお伺いしました。

酒田市内の見学場所は、相馬楼(舞娘踊り見学)、山王クラブ(傘福と辻村寿三郎作お雛様)、土門拳記念館、酒田美術館(ハローキティアート展)、本間美術館(古典人形展)、山居倉庫(米蔵倉庫・観光物産館・食堂)、そして宿泊は湯野浜温泉亀やでした。



山王クラブの傘福

おしんでお馴染みの山居倉庫



酒田あねさんの会は勿論のこと、酒田商工会議所女性会の皆さんが、商品開発をはじめ街おこしへの活動に感心して来ました。

この間、酒田あねさんの会の会員と一緒に宿泊しての交流、酒田商工会議所女性会、酒田観光物産協会からの接待も受け、身に余る慰労をして頂き、この暖かいご招待の恩返しのためにも、今後一層支援活動に努力する決意をしています。

英会話wecan

英会話を学んでみよう！ 英会話と言っていますが、英語ができることは条件ではありません。短期ボランティアで香港から来た女性がいるので、英会話をひとつのきっかけとし、英語・日本語を交えながら、みんなでわいわい楽しいひと時を過ごすことが一つの目的です。

開催日時：毎週水曜日午後7時から8時半、場所：JazzCafe h,イマジン(立根町)

無料ですが、500円(1ドリンク代)が必要です。主催・連絡先：CCMN 大船渡チーム 坪井

高校生との交流や仮設住宅での交流

東京横浜独逸学園（横浜市）の生徒・先生・父母



平成 23 年 10 月 23 日に大船渡市の三鉄ふれあい待合室へお出で頂き「ドイツ喫茶店—シェアカフェ・プロジェクト」を開催以来、毎月三鉄盛駅ふれあい待合室へ「ケーキ」を贈って頂き、ふれあい待合室でのお茶会等で振る舞って来ました。

今年 3 月 30 日と 31 日に生徒・教師・父母の 11 人が手作りケーキを持参し、大船渡市へ来て頂きました。30 日午前は大船渡市三鉄盛駅前にテントを張って、多くの皆様にケーキを食べて頂き

ました。「甘みが少なく、地元のケーキとは違い、ドイツケーキは美味しい」と BRT に乗って来た方(大船渡町女性 80 才)のお話でした。

大高・東高の生徒との交流

また、大船渡高校生 9 人と大船渡東高校生 3 人にお出で頂き、独逸学園生 5 人と同校卒業生 1 人との交流をカメリアホールで行いました。日常生活等を質問し合っていました。

参加しました大高生の方は「ハーフと聞いて来ましたが、日本語で会話が出来、気軽に話し



合いが出来楽しかった」と昼食を含み約 3 時間の交流に満足した様子でした。最後に記念写真を写して終了しました。

永沢仮設と山岸仮設で交流

午後には、2 班に分かれて大船渡町の永沢仮設と末崎町の山岸仮設を訪問し、仮設住居者と交流を行いました。

永沢仮設では日本の民謡を歌い、独逸学園の方からはドイツの歌を披露しての楽しい交流でした。山岸仮設では子ども

たちとの交流も出来、楽しい国際交流のひと時を過ごしました。

独逸学園の皆さんの宿泊は「フレアイランド尾崎岬」でした。31 日は三陸町の三陸まるごと体験館での地元の方々との調理交流を行って、自動車 2 台に分乗して横浜へ帰りました。

東京横浜独逸学園から夢ネット大船渡へ学園で集めました寄付金(34 万円)が届けられました。

再開 第1回歌声列車 参加者募集中

三鉄不通中もホームに停車中の列車内での復興歌声列車を行って来ました。今度は動く列車内での歌声列車を行います。多くの皆さまのご参加をご案内いたします。

日時：平成 25 年 4 月 26 日（金）午前 11 時 30 分出発 吉浜間往復 約 2 時間 30 分

集合午前 11 時 20 分まで、三鉄盛駅ふれあい待合室へ

飲み物・食べ物、車内持ち込み自由 ◆締切 4 月 23 日までにご連絡ください

参加費：一人 1,500 円（列車代・弁当代・汁物代等）、当日持参ください、定員 44 名

申込先：三鉄盛駅ふれあい待合室 TEL・fax（0192-47-3542）

純木造の仮設談話室を建設中

陸前高田市広田町 大久保第二仮設団地

東京に本部を置く、NPO法人「伝統木構造の会」では「気仙応援プロジェクト」を起ち上げ、理事の秋山恒夫氏を中心に、自分たちのノウハウを生かして気仙大工のふるさと岩手県気仙地方で何か、これからの復興に向けて応援できることが無いだろうかと探ってきました。

その中で、現在の仮設団地にはプレハブの仮設集会所が建っているが、頻繁な利用や各種の利用制限があるため、おばあちゃんや漁師さん、家族の方々が朝夕の出入り時などに気軽に声をかけ会え、自由に活用できる純木造で伝統構法による安らげる空間をということで「仮設談話室」を支援することになったそうです。



本来なら、地元の木を使って、地元の職人に建てて欲しかったそうですが復興需要で忙しいため、昨年の暮れから「設計・確認申請・木材手配・刻み・運搬・建設」と全作業を準備して、3月29日より現地での基礎工事を初めとした作業に入り4月7日まで作業を行うそうです。

木の刻み、建て方までは埼玉県熊谷市の「白根工務店」様が中心になって行いますが、職人の手が必要になる仕上げ工事は、北海道、小田原、信州、ものづくり大学等から、大工さんや学生さんが多数応援に駆け付けて一気に仕上げようと頑張っておりまして。

4月2日の午後には神事による上棟式が行われましたが、雨のなか住民の方が大勢集まってくださいます餅まきなどがあり、賑やかに楽しいお祝い事が行われました。

なお、建物については10坪（2.5間×4間）の平屋建の切妻屋根で、壁面については厚板（厚み30mm、幅360mm）を455mmピッチの間柱の間に縦に落とし込む、斬新な簡略工法でできており、仮設建物として使用後、解体して隣の集団移転用地へ移設し再利用を予定しているそうです。

ふれあい待合室＝みんなの交流場所

● 無料法律相談

お気軽に申込下さい 秘密厳守

日時：4月20日 14:00～16:00 一人40分間

21日 10:00～12:00 一人40分間

場所：三鉄盛駅ふれあい待合室

事前申込必要

申込先：ふれあい待合室

Tel・fax (0192) 47-3542

● お茶会

4月15日 10:00～12:00

美味しいお茶菓子があります

● ふれあいウォーキング

お花見をしながら盛町内ウォーク5km

日時：4月27日（土）9時40分集合

参加費 一人50円（保険料）

弁当を希望する方はお申し込みください

弁当代450円 〆切 4月25日



大沢桃子さんと夢ネットの皆さん

【SWITCH（スイッチ）～特別編～】… 前号詳細記載

感動の映画を上映 4月29日 14:00～16:30 リアスホール 無料

今月の「復興ニュース」（4月10日・25日付）は、東京横浜独逸学園からの寄付金で発行しました。独逸学園の皆さま、寄付金有難うございました。 NPO法人夢ネット大船渡